



3月議会一般
質問のつづき

川内港―防衛省「特定利用 港湾」指定に「NO」を

3月6日の市議会一般質問で、日本共産党の井上かつひろ市議はさつま町の弾薬庫建設の本市への影響や川内港の防衛省「特定利用港湾」候補問題、下甕分屯地の「火薬庫」、既存住宅改修環境整備事業(＝住宅リフォーム助成)なども質問しました。質問と当局答弁の要旨を紹介します。

さつま町から薩摩川内市に相談は

さつま町に弾薬庫の建設計画が浮上しています。さらにさつま町民の情報開示請求などの調べでは、町長や議長、商工会などでつづいた誘致推進委員会で「野外訓練場」「地上型スタンドオフユニット(＝敵の対空ミサイルの射

内市に相談はあったかを質問しました。

○未来政策部長 「特に相談は受けていない」。

新聞報道では川内港を特定利用港湾指定の候補地に行っていることがわかっていきます。さつま町に弾薬庫が建設されると弾薬の荷下ろしが川内港で行われ、

弾薬の市内運搬がされる危険性があります。

日本共産党の井上市議は、田中良二・薩摩川内市長に川内港の軍事利用に反対すべきと質問しました。

○市長 防衛省から川内港の利用についての連絡は受けておりませんので、特にコメントはございません。

井上市議HPがリニューアル

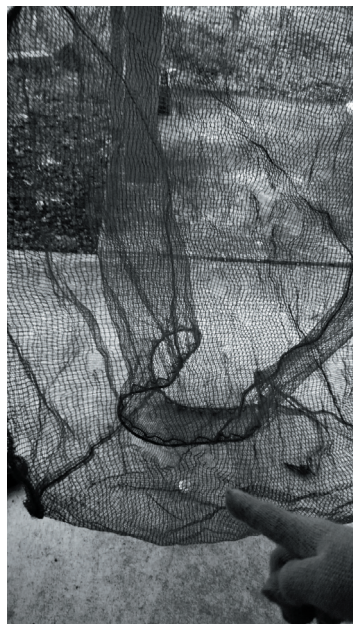
日本共産党の井上かつひろ市議のホームページがリニューアル。よくある質問「いつ共産党に入ったの?」「どうして共産党に入ったの?」「原発に反対する理由は?」など掲載。

民報きずなのバックナンバーなどもあります。パソコンの方は「井上かつひろ 薩摩川内市」と検索すればすぐ「マホの方は上のQRコードから。」

こちらくらし
の相談所 (No. 568)
携帯 080-3996-0237 (井上)

資源ごみ用ネット

久しぶりに自治会の資源ごみ当番が回ってききました。1時間の間にきつぎと持つて来られる資源ごみを回収用の大型ビニールネットに入れていきます。自治会長が「こんなに穴が開いたり、紐で穴をふさいだりしている。もうそろそろ交換の時期では?」とのこと。よく見るとたたんであるビニールネットの多く



(写真) 破れがちこちある資源ごみ回収用の大型ネット

が傷んで穴があいています。市環境課に「傷んだものを全て交換できないものか」と通報しました。市は「予算の都合でいつきに全部の交換はできないが、痛んだネットを知らせてくれ

たら交換する」とのこと。そこで該当するネットに「痛んでいるので交換してください」などの針金荷札などの目印をつけておけばいいということになりました。皆さんのご意見は?

下甕分屯地に「火薬庫(＝弾薬庫)」 島民は知らない

井上氏が入手した防衛省の資料によると自衛隊下甕分屯地に火薬庫(＝弾薬庫)が存在し、建て替えの予算が一億円計上されていることがわかりました。

あつたか 消防局長 防衛省からの情報はなし

井上氏 火薬庫があることは市は知っていた

井上氏 防衛省から市に火薬庫の建て替えをするという知らせは

井上氏 島民は知らない。分屯地で火災が起きたらどうするか
消防局長 消防計画では火災防衛体制について定めている。そちらで対応する。
井上氏 火薬庫の規模や種類を市は知っているか。
消防局長 数量については機密性もあり、公表されていない。

(1面のつづき)

薩摩川内市住宅リフォーム補助制度―優れた制度の拡充を

2012年から始まった薩摩川内市既存住宅改修環境整備事業(住宅リフォーム助成)は、12年目となります。補助金総額累計は12年間に4033件6億5382万3千円、住宅改修費用の総額累計は46億5066万7千円です。市が投じたお金の7倍の経済効果がある

井上氏 12年間続いた優れた制度なのだが1回目を利用した人も2回目を利用できない

建設部長 当面の間は、一回限りとさせていただきます。

井上氏 市外から移住して民家を借りている人がリフォームした場合に同制度を使えない



エプロンおばさんの簡単クッキング (633) 切り干しとニンジンのおかか炒め

材料 (1人分)
 切り干し大根 20g、ニンジン 3g、かつお節 3g、A (しょうゆ・水・酒・みりん各大1、塩少々)
 つくり方
 ①切り干し大根は洗って約3分おき、水気を絞る。ニンジンは細切りにする。
 ②フライパンに油大1を熱し、①をさっと炒める。まぜたAを加え、約1分炒める。かつお節を、もみながら加えてざっとまぜる。
 ※切り干し大根を水で戻さずに使うとシャキシャキした食感

いか

建設部長 同制度は建物の所有者が市内の業者を利用して自ら改修し、かつ居住していることが条件なのできかない。

しんぶん赤旗日曜版 紹介コーナー

3月31日付 日曜版15面

就学援助制度
わが家の助け
「就学援助費」

対象になる条件は、自治体で異なるが、生活保護だけでなく生活保護基準額の1.3倍以下、児童扶養手当受給、住民税非課税など。

2024年度、年額	小学校	中学校
準備金(新入学期)	5万7050円	6万3000円
学用品費	1万1630円	2万2730円
給食(第1学年)	2270円	
給食(2~6学年)	1600円	2310円
給食(7~9学年)	3690円	4210円
給食(10~12学年)		7650円
制服		5万2900円
スキー	2万6500円	3万8030円
スケート		1万1810円
習い事費		1万4000円
部活費	2万2690円	6万910円
PTA会費	4万200円	8万7800円
修学旅行	1万1000円	

お役立ち情報
 学用品 部活 PTA会費 修学旅行など10項目以上。

薩摩川内市の就学援助制度の対象者は世帯全員の所得で審査

(対象者) 生活保護世帯以外に保護者の職業が不安定など、経済的理由で援助を受けたい方が対象です。世帯の状況等を踏まえ生計を

一にする世帯員の合計所得等により審査。災害等により本市へ避難転入された方についても申請を受付しています。

薩摩川内市の就学援助制度について詳しくは左のQRコードから。



←中俣先生のブログはこちら

中俣先生のつれづれなるままに (755)



甥っ子が心筋梗塞で亡くなった。心筋梗塞といえば、自身自身がその疑いで救急車で運ばれたことがある。胸を締め付けるような痛さで、こらえかねて仕事を止め、布団にもぐりこんだ。結果は単なる筋肉痛で、心臓に異常はないとのことであったが、なぜあのような激痛が走ったのか今でも疑問である。先々週は、児童クラブで座ったまま立ち上がれなくなった。老いの坂を登るに、かなり体が弱ってきていることは事実である。それにしても定年退職を前に倒れるとは、姉の悲痛を考えると心が痛む。甥っ子の父親は、今年一月、一年忌を済ませたばかりである。義兄は、四力月近く意識不明のまま亡くなった。甥っ子は四日間眠ったまま旅立った。今年八月には、実の兄の一年忌を控えている。これも不幸が続くと、どうやら死神が、自分の周りをうろつろしているみたいで、気を付けたいと思っている。先だって皮膚がんの疑いで検査を受けたとき、「単なる湿疹です」と診断され、それを聞いた貞子さんが、「お父さんは運がいいね」と言ったが、そのことがが実感として身に迫る。この人はもう少し世の中のために必要だからと、神さまが死神をい払ったのであろうか。だったりやえられた任務を、ゆっくりがんばろうと思う。最初は年甲斐もなく、高来児童クラブと八幡の二股かけてがんばろうと思っただけ、がんばらなくていい。もう一つでいい。八幡を楽しみながら、老いの坂を駆け抜けようと思う。(高来児童クラブ支援員)